

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	令和5年度市営下山門住宅(その1地区)新築工事	階数	地上8F
建設地	福岡県福岡市西區下山門団地1038-1他10筆の一部	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、法22条区域	平均居住人員	157人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2023年2月28日
敷地面積	3,305㎡	作成者	司建築設計事務所
建築面積	582㎡	確認日	2023年2月28日
延床面積	3,740㎡	確認者	司建築設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO2/年・m2)

②建築物の取組み 78%

③上記+②以外の 78%

④上記+ 78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 老朽化した公営住宅の立替に伴い、敷地の効率利用、居住環境の向上を考慮した設計としている。今回大規模団地内の一部の低層建物を解体し、新築の高層建物を建築するため、周辺の景観に配慮した色彩としている。		その他
Q1 室内環境 建築基準法を満たし、かつ規制対象外となる建材をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 福岡市のまちづくり条例の基準を満たし、住宅性能評価基準：劣化の軽減にかんするこの項目で劣化対策等級3を取得予定。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境に配慮した色彩とし、可能なかぎり緑化に努めた計画としている。
LR1 エネルギー 住宅性能評価基準：温熱環境に関するこの項目で省エネルギー対策等級4を取得予定。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器を採用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO2排出率を抑制している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される